

JAPAN GOLF ASSOCIATION

# JGAGolf Journal



公益財団法人日本ゴルフ協会



スポーツ振興くじ助成事業



最終ラウンド16番パー3。絶妙なタッチで10メートルのバーディパットを決め、雄叫びを上げる松山英樹

## 世界の 高みを目指す松山英樹が、初の栄冠をつかむ

大ギャラリーの声援を背に、世界トップクラスの実力をいかんなく発揮!

### 「この優勝は通過点。まだまだ足りないことがあります」(松山)

誰もが「レベルが一つ違う」と認める、  
圧巻の強さだった。

狭山ゴルフ・クラブで開催された第81回  
日本オープンゴルフ選手権。自身4年ぶり、  
プロ転向後初の出場となった松山英樹が、  
通算5アンダーパー、2位に3打差をつけて  
初優勝を飾った。

世界のメジャーを目指す松山にとって日本  
オープン通過点。ぜひとも手に入れたい  
タイトルだったに違いない。

圧巻だったのは、首位に3打差でスタート  
した第3ラウンドだった。5連続バーディを  
含む6バーディ・1ボギーの65で一気に首位  
に立ったのだ。

この日、前日から明らかに一段ギアを上げ  
て臨んできた松山。例えばワンオン可能な  
13番(341ヤード、パー4)。もちろんグリーン  
を狙った松山だったが、ボールはピンまで

25ヤードほどのツマ先下りの逆目の深い  
ラフへ。ここで松山は、ボールのライと同じ  
ような深いラフの中でおよそ10回も素振り  
をしたのだろうか。結果、そこからのアプ  
ロチを2メートルに寄せバーディ奪取。世界  
という舞台上で戦う男の情熱、築き  
上げてきた重厚なテクニックを見せつけた。

最終ラウンドも2位以下がスコアを伸ば  
せない中、1アンダーパーにまとめて逃げ  
切り。4日間4万5257人と、2009年以  
来の4万人越えとなった大ギャラリーの声  
援を背に、完勝だったと言っている。

しかし、松山はこのタイトルにも満足し  
ない。「この優勝は(メジャーに勝つため  
の)通過点ですから、まだまだ足りないこ  
とがいっぱいあります」

その視線はあくまでも世界のメジャー、  
ただ一点に注がれている。

プロとして初挑戦でつかんだ優勝カップに笑顔を見せる松山英樹





# プロ転向後初の日本オープン挑戦で 松山英樹が後続を突き放し初優勝!

●10月13日～16日 ●狭山ゴルフクラブ(7,208ヤード・パー 70)  
●出場人数120名(アマ15名・プロ105名)

順位	氏名	1R	2R	3R	4R	TOTAL	賞金額(円)
1	松山 英樹	71	-70	-65	-69	= 275	40,000,000
2	李 京勲	71	-67	-69	-71	= 278	18,700,000
	池田 勇太	72	-69	-66	-71	= 278	18,700,000
4	H・W・リュウ	66	-72	-71	-70	= 279	10,000,000
5	片山 晋呉	70	-70	-68	-72	= 280	8,400,000
6	小平 智	69	-71	-70	-72	= 282	7,000,000
7	稲森 佑貴	70	-72	-73	-68	= 283	5,200,000
	黄 重坤	71	-74	-68	-70	= 283	5,200,000
	石川 遼	75	-67	-71	-70	= 283	5,200,000
10	S・ストレンジ	73	-68	-73	-70	= 284	3,650,000
	金 亨成	70	-72	-70	-72	= 284	3,650,000
12	B・ケネディ	72	-69	-73	-71	= 285	2,950,000
	W・J・リー	71	-76	-66	-72	= 285	2,950,000
14	真方 章男	71	-71	-75	-69	= 286	2,125,714
	藤田 寛之	75	-72	-69	-70	= 286	2,125,714
	木下 稜介	72	-72	-71	-71	= 286	2,125,714
	永野 竜太郎	72	-72	-71	-71	= 286	2,125,714
	宮里 優作	73	-68	-73	-72	= 286	2,125,714
	C・キム	70	-69	-74	-73	= 286	2,125,714
	@比嘉 一貴	75	-72	-66	-73	= 286	-
	矢野 東	67	-72	-72	-75	= 286	2,125,714
22	小池 一平	71	-71	-75	-70	= 287	1,686,666
	朴 相賢	78	-67	-72	-70	= 287	1,686,666
	藤本 佳則	68	-72	-75	-72	= 287	1,686,666
25	塩見 好輝	72	-72	-76	-68	= 288	1,580,000
	時松 隆光	73	-71	-73	-71	= 288	1,580,000
27	手嶋 多一	72	-73	-74	-70	= 289	1,480,000
	武藤 俊憲	76	-68	-70	-75	= 289	1,480,000
	谷口 徹	72	-74	-68	-75	= 289	1,480,000
30	I・J・ジャン	71	-74	-76	-69	= 290	1,360,000
	山下 和宏	71	-74	-72	-73	= 290	1,360,000
	谷原 秀人	69	-76	-72	-73	= 290	1,360,000
33	小田 孔明	75	-69	-75	-72	= 291	1,300,000
34	文 景俊	72	-73	-80	-67	= 292	1,250,000
	S・ノリス	74	-71	-77	-70	= 292	1,250,000
	@今野 大喜	72	-74	-75	-71	= 292	-
	@中島 啓太	69	-78	-74	-71	= 292	-
	桑原 克典	76	-72	-72	-72	= 292	1,250,000
	趙 炳晏	76	-72	-71	-73	= 292	1,250,000
40	B・ジョーンズ	70	-78	-75	-70	= 293	1,160,000
	近藤 共弘	74	-73	-73	-73	= 293	1,160,000
	宋 永漢	75	-73	-71	-74	= 293	1,160,000
	A・ブランド	72	-73	-73	-75	= 293	1,160,000
	堀川 未来夢	70	-71	-76	-76	= 293	1,160,000
45	@小斉平優和	76	-72	-75	-71	= 294	-
	正岡 竜二	71	-77	-74	-72	= 294	1,090,000
	小田 龍一	70	-73	-75	-76	= 294	1,090,000
48	H・リー	73	-73	-76	-73	= 295	1,060,000
49	T・クロンバ	71	-75	-77	-73	= 296	1,040,000
50	@亀代 順哉	77	-69	-77	-74	= 297	-
	大堀裕次郎	69	-73	-77	-78	= 297	1,020,000
52	S・ハン	77	-71	-77	-74	= 299	960,000
	高山 忠洋	75	-73	-77	-74	= 299	960,000
	片岡 大育	78	-68	-78	-75	= 299	960,000
	遠藤 彰	73	-73	-76	-77	= 299	960,000
	浅地 洋佑	74	-73	-71	-81	= 299	960,000
57	銅谷 太一	72	-76	-77	-75	= 300	880,000
	岩本 高志	73	-71	-79	-77	= 300	880,000
	上平 崇道	73	-75	-76	-76	= 300	880,000
60	近藤 啓介	78	-70	-77	-76	= 301	820,000
	室田 淳	77	-70	-77	-77	= 301	820,000
	櫻井 勝之	71	-73	-78	-79	= 301	820,000
63	久保谷 健一	73	-75	-80	-74	= 302	780,000
64	朴 ジュンウォン	74	-72	-83	-74	= 303	750,000
	沖野 克文	74	-74	-79	-76	= 303	750,000
66	進藤 弘義	77	-70	-76	-83	= 306	720,000

氏名	1R	2R	TOTAL
藤島 征次	76	-73	= 149
櫻井 大樹	75	-74	= 149
宮本 勝昌	75	-74	= 149
池村 寛世	74	-75	= 149
大谷 俊介	75	-75	= 150
村山 駿	71	-79	= 150
比嘉 拓也	74	-76	= 150
M・ヘンドリー	74	-76	= 150
P・マークセン	76	-74	= 150
A・スコット	76	-74	= 150
任 成幸	77	-73	= 150
蘭田 峻輔	77	-73	= 150
兼本 貴司	72	-78	= 150
@松原 大輔	77	-73	= 150
岩元 洋祐	75	-75	= 150
森本 雄	77	-74	= 151
P・シーハン	77	-74	= 151
@豊島 豊	74	-77	= 151
市原 弘大	77	-74	= 151
J・B・バク	78	-73	= 151
@金谷 拓実	77	-74	= 151
富田 雅哉	76	-76	= 152
野仲 茂	80	-72	= 152
近藤 龍一	74	-78	= 152
塚田 陽亮	73	-79	= 152
成松 亮	74	-78	= 152
今平 周吾	74	-78	= 152
李 尚熹	74	-78	= 152
@玉城 海伍	79	-73	= 152
横尾 要	75	-77	= 152
福永 光伸	77	-75	= 152
J・バグンサン	77	-76	= 153
@森田 匠海	80	-73	= 153
松村 道央	79	-74	= 153
鈴木 優大	75	-78	= 153
@木村 太一	80	-73	= 153
趙 珉珪	78	-76	= 154
川上 優大	79	-75	= 154
小島 亮太	78	-76	= 154
@勝俣 陵	81	-73	= 154
柴田 忠則	75	-79	= 154
重永 亜斗夢	78	-77	= 155
@大岩 龍一	82	-74	= 156
梶川 武志	78	-78	= 156
小林 正則	79	-78	= 157
平石 武則	81	-76	= 157
寺田 天我	80	-77	= 157
日高 将史	78	-79	= 157
今井 陽介	85	-74	= 159
@河田文一郎	82	-77	= 159
鈴木 一徳	83	-78	= 161
@H・エンディコット	80	-82	= 162
宮崎 隆司	81	-84	= 165
..... 棄権 .....			
星野 英正			

@はアマチュア

第2ラウンド終了時148ストローク(+8)54位タイまでの66名が第3ラウンド進出



## 「後輩だけどいい勉強をさせてもらった」(池田)

最終ラウンド最終組を松山とともに回ったのは、2014年以来2年ぶり2度目の優勝を狙った池田勇太。最終ラウンドは首位と1打差でスタートしたが、3番のダブルボギーが響き、2位タイの最終成績だった。「アイアンショットでは自分とは(使うクラブが)1番手違う。自分がもう1ランク上に行くにはそこなと気づかされて、後輩だけどいい勉強をさせてもらいました」と、脱帽。

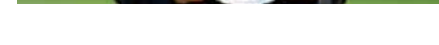
第3ラウンドで松山と同組だったディフェンディングチャンピオン・小平智も、首位と7打差の5位で終戦。「刺激になりましたし、見習うところは見習い、負けていないところは伸ばしていきたい」と、勝者を称えた。

前半の2日間でもっともギャラリーを集めたのは、松山、石川遼、アダム・スコットの

豪華ペアリングだった。

4年ぶり6回目の出場となった石川は、第2ラウンドで3アンダーパーと見せ場もつくれたが、最終成績は7位タイに終わった。3年連続3回目の出場となったスコットは、第2ラウンドを終わって10オーバーパーと精彩を欠き、カット。「フェアウェイをとらえることができなかった。このコースではそれが命取りになります」と、日本オープンのコースセッティングの難しさに白旗を上げた。

ローアマチュアの荣誉に輝いたのは、東北福祉大3年の比嘉一貴。通算3オーバーパーの14位タイで締めくくった。表彰式では、大学の偉大な先輩・松山とがっちり握手を交わした。





優勝杯とローアマ銀皿を手に笑顔が弾ける畑岡奈紗



### 「正直、優勝はびっくりしています」(畑岡)

半世紀にならんとする歴史ある大会で、誰も予想していなかった快挙が起こった。

鳥山城カントリークラブで開催された第49回日本女子オープンゴルフ選手権。高校3年生のアマチュア、畑岡奈紗が通算4アンダーパーで優勝を飾ったのだ。

史上初のアマチュア選手による公式戦優勝を達成するとともに、17歳263日での優勝は宮里藍の20歳105日(2005年)を更新し、大会史上最年少優勝記録となった。

最終ラウンドは、首位と4打差でスタートした畑岡。単独首位だったアマチュア・長野未祈、2位タイの柏原明日架らがスコアを落とす中、10、12、13番のバーディなどで弾みをつける。3組後ろでプレー

する堀琴音とのデッドヒートとなったが、18番で見事4メートルの下りのバーディパットを強気に沈め、結局この日5バーディ・2ボギーの68。通算4アンダーパーでフィニッシュ。堀のホールアウトを待つことに。

対する堀は、17番で痛恨のボギー。18番でバーディを奪えばプレーオフの可能性もあったが、それも叶わず涙。「正直、優勝はびっくり」と畑岡自身も目を丸くするが、この日は「自分の力を信じるだけ。本来の攻めるゴルフを徹底させる」と、攻め抜くゴルフができた自負もある。

無限の可能性を秘めた若き才能が爆ぜた瞬間だった。

## 大会史上初! アマチュアの畑岡奈紗が頂点を極める

17歳の高校3年生が激闘を制し、史上最年少優勝記録も更新



最終18番ホール、難しい下りのバーディパットを強気でねじ込みガッツポーズをする畑岡奈紗



# 勝者が見えないスリリングな展開、勝利の女神はアマチュアに微笑む

●9月29日～10月2日 ●烏山城カントリークラブ ニの丸・三の丸コース(6,506ヤード・パー71)  
●出場人数119名(アマ31名・プロ88名)

順位	氏名	1R - 2R - 3R - 4R = TOTAL	賞金額(円)
1	@畑岡 奈紗	70 - 72 - 70 - 68 = 280	-
2	堀 琴音	70 - 67 - 73 - 71 = 281	28,000,000
3	申 ジエ	71 - 70 - 70 - 71 = 282	15,400,000
4	チョン インジ	75 - 72 - 66 - 70 = 283	8,890,000
	下川めぐみ	72 - 71 - 69 - 71 = 283	8,890,000
6	鈴木 愛	69 - 72 - 73 - 70 = 284	5,390,000
	@西村 優菜	74 - 70 - 70 - 70 = 284	-
	李 知姫	72 - 69 - 71 - 72 = 284	5,390,000
9	服部 真夕	72 - 70 - 70 - 73 = 285	4,200,000
10	青木瀬令奈	71 - 73 - 72 - 70 = 286	2,957,500
	菊地絵理香	70 - 71 - 74 - 71 = 286	2,957,500
	イ ナリ	73 - 73 - 68 - 72 = 286	2,957,500
	有村 智恵	70 - 72 - 71 - 73 = 286	2,957,500
15	@長野 未祈	69 - 69 - 70 - 78 = 286	-
	茂木 宏美	74 - 68 - 73 - 72 = 287	1,817,200
	李 美香	74 - 70 - 71 - 72 = 287	1,817,200
	福田 裕子	73 - 69 - 72 - 73 = 287	1,817,200
	飯島 茜	76 - 69 - 67 - 75 = 287	1,817,200
	柏原明日架	70 - 70 - 70 - 77 = 287	1,817,200
20	キム ハヌル	72 - 70 - 73 - 73 = 288	1,435,000
	永峰 咲希	74 - 69 - 72 - 73 = 288	1,435,000
22	柳澤 美芽	70 - 75 - 73 - 71 = 289	1,269,333
	森田 遥	68 - 76 - 73 - 72 = 289	1,269,333
	若林舞衣子	71 - 73 - 72 - 73 = 289	1,269,333
25	@佐渡山理莉	70 - 75 - 75 - 70 = 290	-
	成田美寿々	77 - 72 - 69 - 72 = 290	1,162,000
	木戸 愛	70 - 74 - 73 - 73 = 290	1,162,000
28	@古江 彩佳	74 - 73 - 73 - 71 = 291	-
	ささきようこ	74 - 74 - 71 - 72 = 291	1,064,000
	宮里 美香	74 - 71 - 73 - 73 = 291	1,064,000
	笠 りつ子	69 - 73 - 75 - 74 = 291	1,064,000
	ベ ヒギョン	75 - 70 - 72 - 74 = 291	1,064,000
	表 純子	73 - 73 - 70 - 75 = 291	1,064,000
34	テレサ ルー	75 - 71 - 74 - 72 = 292	952,000
	上原 美希	73 - 73 - 71 - 75 = 292	952,000
	金田久美子	73 - 76 - 67 - 76 = 292	952,000
37	金井 智子	76 - 73 - 73 - 71 = 293	889,000
	西山ゆかり	73 - 73 - 74 - 73 = 293	889,000
	辻 梨恵	72 - 76 - 72 - 73 = 293	889,000
	@石井 理緒	74 - 75 - 70 - 74 = 293	-
	@高橋 彩華	70 - 73 - 75 - 75 = 293	-
	イ ジウ	75 - 69 - 74 - 75 = 293	889,000
43	大山 志保	72 - 75 - 74 - 73 = 294	826,000
	大江 香織	75 - 72 - 73 - 74 = 294	826,000
	東 浩子	74 - 72 - 73 - 75 = 294	826,000
	全 美真	72 - 75 - 71 - 76 = 294	826,000
	松森 彩夏	72 - 72 - 68 - 82 = 294	826,000
48	豊永 志帆	74 - 71 - 74 - 76 = 295	784,000
49	岡山 絵里	73 - 74 - 77 - 73 = 297	756,000
	佐藤 靖子	72 - 76 - 75 - 74 = 297	756,000
	@吉本 こね	70 - 76 - 76 - 75 = 297	-
	姜 秀衍	74 - 72 - 74 - 77 = 297	756,000
53	原 江里菜	75 - 74 - 76 - 73 = 298	721,000
	@吉田 優利	72 - 73 - 76 - 77 = 298	-
	中尾 春陽	71 - 74 - 75 - 78 = 298	721,000
56	北田 瑠衣	74 - 74 - 77 - 75 = 300	686,000
	城間 絵梨	75 - 74 - 76 - 75 = 300	686,000
	酒井 美紀	75 - 73 - 76 - 76 = 300	686,000
59	O.サ タヤ	73 - 74 - 79 - 75 = 301	658,000
60	前田 陽子	75 - 73 - 79 - 75 = 302	637,000
	渡邊 彩香	71 - 76 - 75 - 80 = 302	637,000
62	藤葉 ルミ	73 - 76 - 80 - 74 = 303	609,000
	安田 彩乃	72 - 76 - 81 - 74 = 303	609,000
64	@金澤 志奈	73 - 73 - 79 - 80 = 305	-

氏名	1R - 2R = TOTAL
福嶋 浩子	76 - 74 = 150
諸見里しのぶ	75 - 76 = 151
@宮田 成華	78 - 73 = 151
@梶谷 翼	78 - 73 = 151
藤田 光里	78 - 73 = 151
大西 葵	74 - 77 = 151
鬼頭 桜	73 - 78 = 151
香妻 琴乃	73 - 78 = 151
川満陽香理	75 - 76 = 151
@岩崎 美紀	76 - 76 = 152
@原 茉莉花	78 - 74 = 152
@工藤 優海	74 - 78 = 152
@吉川 桃	76 - 76 = 152
柴 綾夏	77 - 75 = 152
塩田亜飛美	76 - 76 = 152
@小滝 水音	73 - 79 = 152
@大里 桃子	77 - 75 = 152
永井 花奈	76 - 76 = 152
一ノ瀬優希	77 - 75 = 152
穴井 詩	77 - 76 = 153
フェビーヤオ	75 - 78 = 153
@山口すず夏	79 - 74 = 153
野澤 真央	80 - 73 = 153
小野 祐夢	80 - 73 = 153
馬場ゆかり	77 - 76 = 153
@松原 由美	76 - 77 = 153
@河野 杏奈	76 - 77 = 153
藤田さいき	80 - 73 = 153
高林 由美	76 - 78 = 154
鈴木 麻綾	77 - 77 = 154
@新垣 比菜	77 - 77 = 154
斉藤 裕子	74 - 80 = 154
@勝 みなみ	77 - 77 = 154
綾田 紘子	75 - 79 = 154
エイミーコガ	81 - 74 = 155
安東 茉優	80 - 75 = 155
森井 富	76 - 79 = 155
幡野 夏生	74 - 82 = 156
上田 桃子	81 - 75 = 156
@瀬川 百花	77 - 79 = 156
坂下莉香子	81 - 76 = 157
沖 せいら	80 - 77 = 157
森田理香子	78 - 80 = 158
鬼澤 信子	80 - 80 = 160
@遊野日向子	74 - 86 = 160
@菅沼 菜々	82 - 78 = 160
山本 景子	77 - 84 = 161
@杉原 彩花	80 - 82 = 162
@大林 奈央	83 - 80 = 163
@関野 愛美	83 - 81 = 164
@西岡利佳子	88 - 89 = 177
.....棄権.....	
Pチユティチャイ	
イ ボミ	
藤本 麻子	
.....失格.....	
@藤田 愛	

@はアマチュア

第2ラウンド終了時149ストローク(+7)58位タイまでの64名が第3ラウンド進出



## 「プロが勝たないといけませんでした。情けない」(堀)

最終ラウンド、堀琴音はアウトで2つスコアを伸ばし、単独首位でハーフターンの後半はパッティングに苦しんだが、それでも大崩れせず優勝戦線に踏みとどまっていた。ポイントには17番490ヤードのパー4ホールだった。堀は、グリーン手前の池を避けてレイアップを選択し、3打目勝負でパー奪取を狙った。しかし、これが裏目に出る。このホールボギーにし、畑岡に1打ビハインドとなった。最終ホールで10メートルのバーディパットに果敢に挑戦したが、ボールはカップの横をすり抜けた。「天才がまた一人出てきたなと思いました。勝つべき人です。でも、プロが勝たないといけませんでした。情けない」と涙を見せた。連覇を狙ったチョン インジも、一時は2アンダーパーとして優勝争いに加わる勢いを感じ

させた。しかし、結局スコアを伸ばせず、4位タイで終わった。ホールアウト後、表彰式を前に緊張する畑岡に前年覇者として笑顔で話しかけ、リラックスさせていた姿は、彼女の人柄をよく表している。第3ラウンド終了時点で単独首位にいたアマチュアの長野未祈も、大会を盛り上げたアマチュアの一人。しかし、最終ラウンドに7つスコアを落とし、通算2オーバーパーの10位タイに沈んだ。最終ラウンド後半は、申ジエ、下川めぐみ、鈴木愛、李知姫らが目まぐるしく順位を変えるスリリングな展開となった。ゴルフトーナメントの面白さを、1万人を超える大ギャラリーも堪能したに違いない。



- ① 優勝の最右翼と目されていた申ジエは3位に終わった
- ② 第1ラウンドを2位タイでスタートした鈴木愛は6位タイに
- ③ 多くのギャラリーが固唾をのんで見守った18番ホール
- ④ 最終ラウンド11番でホールインワンを達成した李知姫
- ⑤ 単独首位で最終ラウンドを迎えた長野未祈は崩れて10位タイ
- ⑥ 本大会で初のトップ10入りを果たした下川めぐみ
- ⑦ 連覇を狙ったチョン インジは、惜しくも4位タイに
- ⑧ ホールアウト後には大粒の涙を見せた堀琴音
- ⑨ 4日間安定したプレーを見せた服部真夕
- ⑩ 本選手権初優勝の期待がかかったイ・ボミは連戦の疲れから第1ラウンド終了後に棄権した
- ⑪ 4年連続好成績の菊地絵理香。あとは優勝あるのみ
- ⑫ 2年ぶりに出場し、大会を盛り上げた有村智恵





優勝杯を手に笑顔が弾けるマークセン



## P・マークセン が、鈴木亨とのシニアルーキー対決を制し初優勝

最後までステディなゴルフを続け、最後はバンカーからのチップインで有終の美

### 「お前の優勝だと言われ、その気になった。」(マークセン)

二人だけのマッチプレーのような展開となった試合を制し、初出場初優勝を飾ったのはタイのシニアルーキーだった。

千葉県印西市の習志野カントリークラブ キング・クイーンコースで開催された第26回日本シニアオープンゴルフ選手権。最終ラウンドは断続的に小雨が降る中、7アンダーパーの首位タイでスタートしたプラヤド・マークセンと鈴木亨の一騎打ちとなった。

ともに1966年生まれで、今年シニアデビューを飾った二人。互いに意識して試合を迎えたわけではないだろうが、3日目を終えて首位タイとなれば、否が応でも「負けたくない」という気持ちが高まったことだろう。

この日、マークセンは1、2番と連続バーディを奪って絶好のスタート。すると鈴木も

2、6番でバーディ。互いの意地のぶつかり合いが、高いレベルでのプレーにつながっていく。前半はともに4バーディで、優勝争いは完全にこの二人に絞られた。

後半に入り、鈴木は11番でバーディを奪って一時リードするものの、その後3ボギーでみるみる失速。

一方マークセンは、抱負な練習量に裏打ちされたパワーと技でパーを重ねる。最終18番はバンカーからチップインを決め、有終の美を飾る形となった。

前週のコマツオープンで今季2勝目を挙げ、好調を維持して本選手権に臨んだマークセン。「このままいけばシニアオープンもお前の優勝だと(周囲から)言われ、自分もその気になった」と、無邪気な笑みを見せた。

同年齢対決を終えたプラヤド・マークセンと鈴木亨は、18番グリーン上でがっちり握手



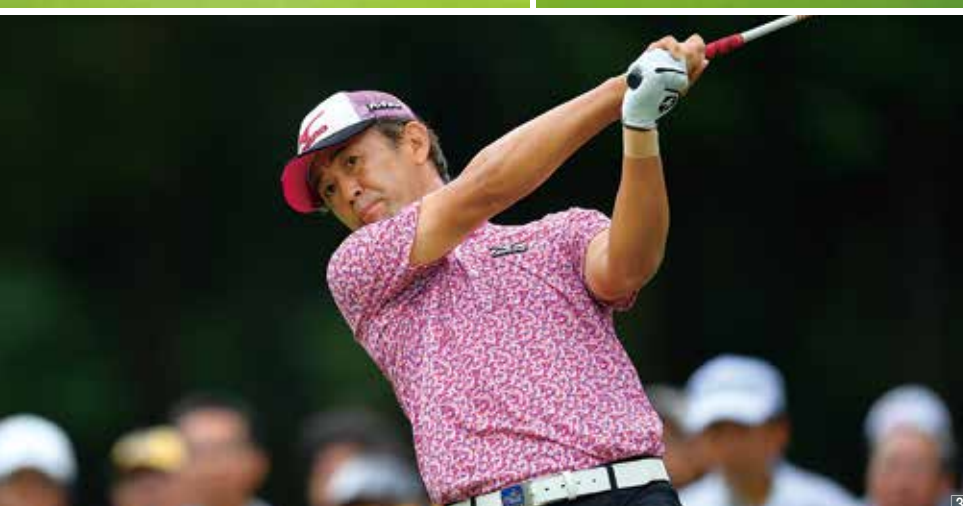
# プラヤド・マークセンが初出場初優勝!

●9月15日～18日 ●習志野カントリークラブ キング・クイーンコース(6,938ヤード・パー 72)  
●出場人数126名(アマ14名・プロ112名)

順位	氏名	1R-2R-3R-4R=TOTAL	賞金額(円)
1	プラヤド マークセン	68-71-70-67=276	16,000,000
2	鈴木 亨	72-69-68-70=279	8,800,000
3	盧 建順	69-73-70-75=287	6,160,000
4	渡辺 司	74-66-74-74=288	3,680,000
	ピーター ファウラー	66-74-72-76=288	3,680,000
6	尾崎 直道	70-74-72-73=289	2,426,666
	真板 潔	69-74-71-75=289	2,426,666
	秋葉 真一	68-72-73-76=289	2,426,666
9	高見 和宏	75-71-71-73=290	1,408,000
	ハリー レーン	73-69-74-74=290	1,408,000
	倉本 昌弘	75-71-71-73=290	1,408,000
	小溝 高夫	71-69-75-75=290	1,408,000
	フランキー ミンガ	71-71-72-76=290	1,408,000
14	汪 徳昌	70-73-73-75=291	1,008,000
15	湯原 信光	74-73-69-76=292	912,000
	室田 淳	71-69-75-77=292	912,000
17	上出 裕也	75-74-72-72=293	800,000
	呂 文徳	73-73-74-73=293	800,000
	田村 尚之	74-74-70-75=293	800,000
20	グロリア マイヤー	75-73-75-71=294	708,000
	ポール ウェセリン	73-74-72-75=294	708,000
22	清水 洋一	73-75-76-71=295	672,000
23	白浜 育男	75-75-72-74=296	648,000
	金 鐘徳	73-76-72-75=296	648,000
25	早野 健	74-75-74-74=297	608,000
	富永 浩	76-71-73-77=297	608,000
	比嘉 勉	76-76-68-77=297	608,000
28	白石 達哉	71-77-76-74=298	540,000
	井戸木 鴻樹	73-76-75-74=298	540,000
	崎山 武志	76-72-74-76=298	540,000
	羽川 豊	76-75-71-76=298	540,000
	リチャード バックエル	71-74-76-77=298	540,000
	ブランチ ルアンキ	72-76-73-77=298	540,000
34	平石 武則	75-69-81-74=299	492,000
	中嶋 常幸	76-75-74-74=299	492,000
	高崎 龍雄	77-72-75-75=299	492,000
	久保 勝美	74-73-73-79=299	492,000
38	高松 厚	72-77-76-75=300	468,000
	寺西 明	72-72-77-79=300	468,000
40	齋藤 義勝	76-72-78-75=301	448,000
	米山 剛	68-80-74-79=301	448,000
	中島 武志	73-73-73-82=301	448,000
43	柳澤 伸祐	75-73-78-76=302	416,000
	中西 信正	76-73-74-79=302	416,000
	原田 三夫	72-77-72-81=302	416,000
	福澤 義光	72-73-75-82=302	416,000
	清家 和夫	77-75-68-82=302	416,000
48	池内 信治	76-76-75-76=303	392,000
49	東 聡	74-75-77-79=305	380,000
	加瀬 秀樹	75-71-78-81=305	380,000
51	溝口 英二	73-78-78-77=306	356,000
	海老原 清治	74-74-77-81=306	356,000
	牧野 秀一	70-76-79-81=306	356,000
	杉原 敏一	78-71-75-82=306	356,000
55	山本 昭一	75-76-77-79=307	324,000
	中根 初男	72-74-79-82=307	324,000
	尾崎 智勇	76-76-72-83=307	324,000
	尾崎 健夫	72-74-76-85=307	324,000
59	大井手 哲	78-74-79-77=308	300,000
	高橋 勝成	78-73-77-80=308	300,000
61	福沢 孝秋	79-73-77-81=310	288,000
62	谷後 則和	76-75-81-80=312	288,000
	野崎 泰行	76-75-81-80=312	288,000
64	谷中 宏至	76-75-86-83=320	288,000

氏名	1R-2R=TOTAL
@亀井 隆	77-76=153
菅原 洋一	77-76=153
飯合 肇	76-77=153
三好 隆	77-76=153
大山 健	77-76=153
原 孝	75-78=153
大山 雄三	75-79=154
杉本 英樹	80-74=154
鈴木 正男	78-76=154
スティーブ コラン	79-75=154
芹澤 信雄	78-76=154
初見 充宣	75-79=154
松木 徳生	82-72=154
芹澤 大介	79-75=154
西野 琢仁	75-79=154
水巻 善典	78-76=154
@吉田 智行	74-81=155
@大友 富雄	81-74=155
林 根基	75-80=155
奥田 靖己	78=155
秋富由利夫	78-77=155
奥野 光司	75-80=155
中村 直典	79-76=155
タケ 小山	82-74=156
堀 芳浩	78-78=156
嶋林 猛徳	79-77=156
鳥海 博文	78-78=156
グレン ジョイナー	78-78=156
浅澤 敬和	77-80=157
青木佐登司	82-75=157
@木村 利治	81-77=158
久我 明	81-77=158
@横山 浩康	78-80=158
河村 聡	79-79=158
渡邊 達	84-74=158
島村豆至天	78-80=158
@田中 良博	78-80=158
神谷 浩一	80-79=159
金子 達也	77-82=159
大屋 和茂	80-79=159
@勝又 正浩	80-79=159
浜野 治光	78-81=159
吉本 志郎	76-84=160
松永 圭史	80-80=160
@野上 英司	79-81=160
@宮 辰夫	79-82=161
橋口 浩一	79-82=161
@堀江 靖見	80-82=162
青木 功	79-84=163
@澤田 信弘	82-81=163
山下 英章	85-78=163
石原 明	81-82=163
藤田 裕	85-78=163
青木 繁之	80-84=164
一ノ瀬善一郎	81-83=164
@宮本 清	81-83=164
徳永 雅洋	85-82=167
西野 正裕	84-83=167
井出 努	83-84=167
@三浦 英夫	87-80=167
@東 幸司	80-89=169
河内 耕二	85-86=171

第2ラウンド終了時152ストローク(+8)59位タイまでの64名が第3ラウンド進出 @はアマチュア



## 「息子に最終ラウンドの優勝争いの雰囲気、プレッシャーを感じさせたい」(鈴木)

真っ先に「悔しい!」という言葉が出た。続けて「勝たなかった!」と言う言葉も。レギュラーツアーでは8勝の実績を持つ鈴木亨。この試合は、息子の貴之さん(中央学院大2年・ゴルフ部)をキャディとして帯同した。第3ラウンドを首位タイで終えたとき、「(明日は)自分も緊張すると思うけど、息子に最終ラウンドの優勝争いの雰囲気、プレッシャーを感じさせたい」と、メジャータイトルにかける思いとともに我が子に対する親心も見せていた鈴木だった。

しかし、最終ラウンドは自滅とも言える失速。キーポイントは12番と14番だったという。11番でリードを奪った鈴木だったが、その一瞬の心のスキが12番をボギーにした。また、13番でピンチからパーをセーブした直後の14番も、フェアウェイ真ん中からのミスショットでボギーに。

鈴木らしからぬミスは、やはり「シニアオープン」という大舞台が生み出すものなのだろう。

レギュラーツアーでは、最終ラウンドに爆発的な力を発揮して勝った試合も多かった鈴木だが、残念ながら本選手権では不完全燃焼。それでも3位以降に8打差をつけた単独2位は、今後のシニアツアーでの活躍を占うに十分なものになったと言える。

単独3位に入ったのは、チャンピオンズツアーに6年間参戦していた経験を持つ盧建順。タフなセティングにも「このコースのフェアウェイはアメリカと似ているし、プレーしていてとても楽しい」と、実力者ならではのコメントを残した。

2009年大会のチャンピオン、渡辺司は通算パープレーにまとめ、ピーター・ファウラーとともに4位タイに入賞。渡辺はこれで5年連続のトップ10フィニッシュとなった。

ほかに尾崎直道、真板潔、秋葉真一の実力者が6位タイに入賞。試合を盛り上げたが、最終ラウンドはスコアを落とし、優勝を狙える展開にはならなかった。



# ナショナルオープンに相応しいコースセッティングとは クラブの熱意とコース管理の努力が ナショナルオープンを成功に導く



今年の日本オープンが狭山ゴルフクラブで開催された。選手たちの華やかなプレーを引き出した美しいコースは、どのようにつくられ、どのように維持管理されたのだろうか。コースセッティングの裏側を、菅真知JGAコースセッティングチーフディレクターと、狭山GC・大和田弘之スーパーバイザー兼グリーンキーパーにうかがった。

## 長いラフを作り出すために苦勞の連続

——まず、今年の日本オープン開催コースが、狭山ゴルフクラブに決まった経緯からお聞かせください。

**菅真知チーフディレクター（以下、菅）** 狭山GCは、過去にダイヤモンドカップ（2002年、2006年、2010年）や日本シニアオープン（2008年）を開催しています。その都度コースを改修し、徐々に大きな大会を開催できるコースになってきているという印象は持っていました。そこで私のほうから「日本女子オープンを開催しませんか」とお声がけしたのです。4年ほど前でしたね。でも、クラブは「どうせやるならナショナルオープンをやりたい」というお話でした。日本オープン開催のためにはコースだけでなく、ギャラリーの収容力や駐車場の収容台数など、数多くの条件があります。それをクリアするのは大変なのですが、クラブの皆さんの努力ですべて埋めていってもらったという形です。

**大和田弘之グリーンキーパー（以下、大和田）** 最初で開催基準を見たときは、これは大変だなと思いました。間に合うかどうか心配でしたよ。コース管理として大変だったのは、やっぱりラフですね。私はダ

イヤモンドカップを経験させていただいたのですが、あれは春先の大会だったので、ラフはまったくケアしなかったのです。今大会は秋の開催で、ラフは100ミリだったり120ミリだったり、通常営業時の3倍です。JGAからのオーダーにどう応えればいいのかと悩みました。

**菅** ラフはその年に伸ばせばいいというものではなく、前年から肥培管理などをしっかりやらないと伸びないものなんですよ。もちろん、グリーンもフェアウェイも同じですけどね。

**大和田** その通りです。芝の管理は本当に大変です。それに今大会では、フェアウェイをできるだけ低く刈りたかったので、普段は春先に1回しかやらない目砂を梅雨明けにもう1回、8～9月にかけてさらに1回と、計3回もやって芝の低刈りをキープするという方法をとりました。通常とは違った作業が入ってきて苦勞しました。

——今年は天候が不順だったので、キーパーとしては苦勞されたのではないですか？

**大和田** そうですね。今年は9月に雨が続き、刈り込み作業がほとんどできなかったのです。ラフも刈れ

なかったし、日照不足でベント芝のグリーン、高麗芝のフェアウェイ、野芝のラフのすべてで生育不良という箇所がかなりありました。水やりや肥培管理はどうかコントロールできますが、日照だけはどうにもなりませんからね。

**菅** 試合前は芝の色の心配をしました。でも、大会直前にパッと日が照ってくれて、どうか見映えもよくなってきましたね。

——ラフを長く伸ばすというのは難しい作業なのでしょうか？

**大和田** そうですね。まずは芝が立つように、芝自体を強く育てることが必要です。そして、機械的に芝を起こして刈ることも求められます。とはいえ、ギャラリーなどに踏まると寝てしまいますので、芝が寝てしまっているところに関しては大会中も毎朝人力で芝を起こす作業をしました。

**菅** 今年は雨が多かったから芝が伸びて寝てしまって、その上にボールが乗るような状況になっていました。試合直前までその芝を刈り、立たせる作業をして、上からボールがスポッと入るようなラフにしたのですから、大変な苦勞だったと思います。



大会開催記念の、出場選手サイン寄せ書きの前に立つ狭山GCの大和田弘之スーパーバイザー兼グリーンキーパー（左）と菅真知JGAコースセッティングチーフディレクター





「今大会の成功の大きな要因の一つは、クラブ側がJGAのリクエストに最大限応えてくれたこと。本当にありがたかった」と、菅チーフディレクター

## 4年にわたって大幅なコース改修を敢行

——ここで改めて、今大会のコースセッティングの基本コンセプトを教えてください。

菅 ナショナルオープン、すなわち日本一の大会にふさわしいセッティングということが一番に挙げられます。つまり、グローバルな試合に通用するセッティング、世界基準のセッティングということになります。これは、そのときに一番強い選手が勝てる公平なセッティングかどうかということが問われます。JGAのコースセッティングは、ここ数年で変化してきています。かつては選手のスコアを抑えつけるようなひたすら難しいセッティングが多かったのですが、近年は選手の技術を引き出す、チャレンジングなセッティングになっています。今大会も、選手の挑戦意欲をかきたてるセッティングを目指しました。

——そのコンセプトに基づき、4年前からコース改修に着手したわけですね。

大和田 まずはギャラリーの動線も考慮しながら林帯整備を行いました。樹木の下枝を下ろしたり、間伐したり。元々樹木が多かったので林の中に日が当たらず、芝が生えない裸地が多かったのです。そこに日が当たるようにして、裸地の上に芝を貼る作業をしました。1000本以上は樹木を切ったと思います。そして芝を貼った場所だけで6万平米はあります。

菅 同時進行でティーインググラウンドの整備もお願いしましたね。日本のゴルフ場のティーインググラウンドは後ろになるほど高くなることが多いのですが、狭山GCはコース自体がとてもフラットだということが大きな特徴です。そこに打ち下ろしてみたいなティーインググラウンドがあったらおかしいですよね。そこで後ろのティーインググラウンドの段差を低くし、同時に大勢のギャラリーから見やすくするために広くしたのです。ティーインググラウンドを整備したのは全部で12ホールになりましたが、距離を伸ばしたホールはほとんどありません。

——そのようなコース改修業務は、キーパーはじめスタッフにとって大変な作業だったでしょうね。

大和田 そうですね。この4年間は通常作業に加え、日本オープンのための作業があって本当に忙しかったです。トップシーズンはフェアウェイの芝刈りが週に3回は必要だし、ラフだって刈らなければいけません。その作業にスタッフを何人もとられるわけですから、林帯の整備などにはなかなか時間を割けないんですよね。

菅 コース管理の現場というのは本当に忙しいんですよ。一日放っておくだけで芝はどんどん伸びますから。結局、コース改修に力を入れられるのは、芝の生育が遅くなる冬の時期なんですね。スタッフの皆さんが少しホッとできる冬の時期なのに、本当に大変なご苦労をおかけしました。感謝しています。

## 今大会で取り組んだ新たな試みとは

——今大会では新しい試みとして、フェアウェイの端からラフまでの芝を徐々に高くしていく「ベベルカット」が採用されました。狙いは？

菅 私がメリオンGCで開催された全米オープン(2013年)を視察に行ったとき、USGAが初めてベベルカットを採用しました。狭山GCの皆さんとその話をしているなかで「日本オープンでもやってみないか」ということになったのです。ラフを100~120ミリの高さにしたときに、フェアウェイとラフの境目でボールが長いラフに寄りかかると同時に止まるとちょっと打てません。ベベルカットにしてラフを徐々に高くしていけば、わずかに曲げた選手はやさしい状況から打てる。逆に大きく曲げた選手は深いラフからのショットになる。差がはっきりと出て不公平感はないのでは、という狙いです。

大和田 我々スタッフにとっても初めての試みでした。芝刈り機の歯の枚数や硬さ、回転数などをいろいろ変えて試行錯誤しましたよ。現在、芝を斜めに刈れる機械はないので、最終的には既存のものを少し改造してクリアすることができました。

菅 今大会では、バンカーを避けた選手のボールが入るところなど6ホールに導入しました。試みは成功だったとは思いますが、テレビ中継では見た目にはわかりにくかったかもしれませんね。



今年は日照不足で、例年以上に芝の育成管理が難しかったという。しかし、大会期間中もスタッフの献身的なメンテナンス作業が行われ、最高の状態に保たれた

大和田 日本の野芝と海外の洋芝の違いだと思います。色味の問題かなと。

菅 高麗芝のラフだったら、全然違って見えたかもしれませんね。

——グリーンに関してはいかがですか？

大和田 今年はとにかく日照不足だったもので、スピードはなんとか目標まで出せましたが、コンパクションは上がりきらなかったです。ローラーでもかければ表面的には硬くはできますが、土壌の中にしっかり芝が根を張らないとコンパクションは上がりません。表面的な硬さだけでは、スピンのほどけたりするのです。止まって速いグリーンが理想ですから、今年はなかなか難しかったです。

菅 でも、選手は「こんなにきれいに転がるグリーンは久しぶりだ」と言っていましたよ。今年は日本全国で天候が悪かったですから、どこのコースもコンディション維持が難しかったのだと思います。みんな口々にほめていました。

大和田 こちらとしては、もっとよくなったはずだと思っていますけどね。内心はハラハラでした(笑)。

——今大会のコースセッティングを振り返り、どのような感想をお持ちですか？

菅 今大会成功の一番の要因は、私たちJGAがこうしたいと思ったこと以上にクラブ側が応えてくれたことだと思います。非常に多くの林帯やティーインググラウンド、バンカーなどを整備しましたが、これはクラブの理事長やコース委員長、総支配人をはじめクラブの皆さんに、素晴らしい大会にしたいという熱い思いがあったからです。ましてや現場は、より大変な思いをされたと思います。やはりクラブ側の意欲が大会を成功に導くのだと思います。



「日本オープンのコース管理などは、やりたくてもやれない仕事。本当に貴重な経験をさせていただきました」と、大和田グリーンキーパー

大和田 私たちは、いいコースにしたいということだけを考えていました。どこのキーパーが見に来るかわからないですから(笑)。一般のギャラリーが見えないようなところも、絶対に手を抜けないと思って整備しました。

菅 試合を見ないで、コース管理の動きをじっと見ている人もいましたね。あれは絶対に同業者ですよ(笑)。日本オープンは、キーパーのオープンでもあるのですね。

大和田 日本にこれだけ多くのゴルフ場があるなかで、日本オープンなどという大会はやりたくてもやれないキーパーがたくさんいるわけです。それだけに、私やうちのスタッフにとっても貴重な経験になりました。

菅 スタッフの一つ一つの作業レベルが、試合前と比べてずいぶん高くなっているはずですよ。今後のコース管理も少しずつ変化して、ますます素晴らしいコースになっていくでしょうね。



# スロープシステム導入で リタイアしていたプレイヤーが 倶楽部競技に戻ってきた!

新たなJGAハンディキャップシステム(USGAハンディキャップシステム準拠、通称スロープシステム)が間もなく4年目に入ろうとしている。

初年度の2014年に新システムを導入した福岡県の麻生飯塚ゴルフ倶楽部では倶楽部競技から退いていた年配のプレイヤーが競技復帰するなどの効果が表れている。

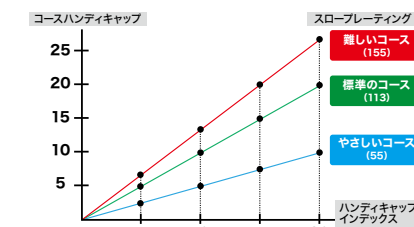
その内容を坂本修一ハンディキャップ委員長、箕田政人コンペティション委員長、藤井久隆支配人、原幸志運営業務課兼営業部課長代理に聞いた。

ハンディキャップの歴史(概略)

年代	欧米	日本
17世紀後半	HDPCの概念広まり始める	
1900年頃	英国女子連盟が初のCR開発	
1911年	USGAが初めてCR導入(全米アマ優勝者のスコア)	
1920年代~	全米各地区でHDPCシステムの改善案考案	1950年代 JGA HDPC制度導入(USGA制度を参考に開発)
1960~70年代	USGAが障害難易度査定法を考案 現行HDPC制度の基礎完成	1978年 現行JGA制度施行(USGA制度を参考に開発)
1979年	USGAがスロープシステム開発着手	
1987年	USGAがスロープシステム正式施行	
2010年~	現在世界61の国と地域で採用	2010年 スロープ導入決定(USGAとJGAが正式契約締結)
2014年~		スロープシステム施行(USGAハンディキャップシステム準拠)



【スロープ表】



ハンディを、傾斜で表すスロープシステム。プレイヤーの腕前、コースの難易度によってハンディキャップが大きく変わる。

館内掲示板に掲載されている会員の HDCPインデックスとコースHDCP換算表



上/左から 坂本修一ハンディキャップ委員長、箕田政人コンペティション委員長  
下/左から 藤井久隆支配人、原 幸志運営業務課兼営業部課長代理

——麻生飯塚ゴルフ倶楽部では2014年に九州地区の先陣を切ってハンディキャップ(以下HDPC)インデックスを導入しています。まず導入に至った経緯をお聞かせください。

**藤井** 新システムがスタートする1年半ほど前だったと思いますが、JGAの役員の方から「今度、こういうことを始める」とうかがったのがきっかけでした。それを坂本HDPC委員長に伝え、それぞれ勉強した結果、よさそうなシステムだということが理解できたのであまり引掛かることなく導入することを決められました。

**坂本** JGAの講習会等を通じてグローバル化が当たり前の世界になっている中でこのシステムが世界60カ国以上で採用されていること、老若男女の区分なく公平にゴルフ競技を楽しめる仕組みになっていること、また、ゴルフを楽しむ人を少しでも増やしたいという意味があることなどを知り、当倶楽部は積極的に取り組むべきだと考えました。早速、2013年10月に当倶楽部の理事会で採用することを決めていただきました。

——採用決定後にHDPC委員会ではどのような普及活動に取り組みましたか。

**坂本** システムが大きく変わりますし、聞き慣れない言葉もありますから、まずはHDPC委員がシステムを十分に理解する必要があると感じ、勉強会を始めました。次に、会員の皆様が混乱しないよう具体的にどのようにして進めるべきか、いろいろな場面を会員の立場になって想定し、何度となく委員会を開催しました。その結果、新しい言葉の説明や、このシステムを

当倶楽部に当てはめるとどうなるかの例を示したものをHDPC委員会で作成し、倶楽部会報と掲示板に掲載することにしました。特に、会員はHDPCインデックスを取得し、プレーするコースとティーの位置でHDPCが変わることや、当倶楽部は27ホールありますのでどのコースを回っても同時に競技できることを念入りに説明しました。

——コンペティション委員会との連携はいかがでしたか。

**箕田** 坂本HDPC委員長にコンペティション委員会に来ていただいて、新システムのことを説明していただきました。すぐには内容を理解できませんでしたし、反対意見も少しありましたが坂本さんの熱意を感じたこともあり「競技で採用しよう」ということを決めました。

**坂本** 当倶楽部の競技日程は4月から新年度になりますので、それに合わせて2014年4月から新システムに移行することにしました。初年度は慣れないことも考慮して競技種目やティーの選択を限定していましたが、2年目からは各種選手権競技や理事長杯、キャプテン杯などの主要競技を除き、競技者がティーを選択できるようにしています。

**箕田** 当倶楽部にはそれぞれ9ホールのブルー、グリーン、ホワイトの3コースがあります。月例などではすべてのコースを使用しますのでプレーするコースによって3つ(ブルー×グリーン、グリーン×ホワイト、ホワイト×ブルー)に分けて競技をするしかありませんでした。つまり、1回の競技で優勝者が3人いたわけです。それが新システムを採用したことで一本化することができました。





毎月開催されているハンディキャップ委員会の模様

—— スコアカードに工夫を凝らしたそうですね。

坂本 はい。提出用のスコアカードにHDCPインデックス、プレーしたコース、コースHDCPを記入する欄を設けました。(スコア記入用の) テーブルの横にメンバーのHDCPインデックス、回ったコースのHDCP換算表が掲示されていますので確認は容易にできます。

—— 自ら記入することでプレーヤー各々のHDCPインデックスへの理解度が深まるのが期待できそうです。

坂本 そう思います。最初は「面倒だ」という声もありましたが、日を追うごとに収まり、今では全くそういう声はありません。

—— 新システム導入後、倶楽部競技優勝者の顔ぶれに変化はありましたか。

坂本 以前はHDCP10前後の方が中心でしたが、今はまんべんなく分布しており、誰にでも優勝する機会が出てきたと感じています。

箕田 優勝者や上位入賞者が偏るとそれ以外の方の競技への参加意欲がそがれますから、コンペティション委員会としても多くの方のチャンスが出てきたことはありがたいですね。

原 当倶楽部競技のローカル的なことを補足させていただきますと、HDCPインデックスは毎月1日の更新ですが、競技でネット60台が出ると同じ月内であっても次の競技にはトレンドHDCPで出場していたくということを実施しています。

藤井 ほぼ毎週何かしら競技がありますからね。作業する事務方は大変ですが、これも幅広い方にチャンスが回るようにということです。

原 会員様も楽しんでいただいていると感じています。

もう慣れましたか？  
〈ハンディキャップの出し方〉

① 自分のHDCPインデックスをご記入下さい。(毎月初に変わりますのでご確認ください)  
② 使用したティーを○印でお読み下さい。(毎月初に変わりますのでご確認ください)  
③ 換算表に基づいたコースHDCPを使用したティーの欄にご記入下さい。  
④ コースHDCPとCR (Course Rating) の和を今日のHDCPとしてご記入下さい。  
⑤ 今日のHDCPを記入して下さい。

例1) A君(男性)の1月のHDCPインデックスは、早見表より18.9でした。  
A君は、新制時にフロントティーで出場しました。  
A君のHDCPは18.9です。  
コースHDCP換算表より、18.9を換算すると21になります。  
今日のHDCPを計算します。21+(1男性)=22  
A君のHDCPは22となります。

例2) B子さん(女性)の1月のHDCPインデックスは、早見表より18.9でした。  
B子さんは、新制時にレディースティーで出場しました。  
コースHDCP換算表より、18.9を換算すると22になります。  
今日のHDCPを計算します。22+(2女性)=24  
B子さんのHDCPは24となります。

会報誌にはHDCPインデックス取得者に向けてのスコアカードの提出方法が分かりやすく解説されている

坂本 もうひとつ付け加えますと、主要競技で優勝しますとその年度内は無条件でクラブ競技でのHDCPインデックスをひとつ下げるといっています。主要競技で勝つことは名誉ですからね。

—— 競技参加者の人数や年齢層に変化はありましたか。

箕田 いわゆる高齢者といわれる方が競技に戻ってきています。新システムになってプレーしやすくなったという理由が多いようです。

—— 競技をあきらめていた方がもう一度やってみようかと?

箕田 そうです。たとえばブルーの4番ホールはティーショットが池を越えるパー4ですが、レギュラーティーからですとキャリーで150ヤードいかないと池を越えません。私自身もそうですが若いころは向こう岸までいっていたのが、力が落ちてくると越えないわけです。そうなると面白くない。ところが、ティーの選択が可能になるとフロントティーから打てますから、それなら越えていける。じゃあ、もう一回やってみようかということになるわけです。

藤井 それこそが「老若男女の区分なくゴルフが楽しめる」というこのシステムの主旨でしょうからね。

【スロープシステムの使い方】 女性Aさん・男性Bさんが対戦した場合

男女で対戦

男女でも公平に競える	レギュラー 女子CR:77.1 女子Slope:139	レギュラー 男子CR:71.8 男子Slope:130
HDCPインデックス	15.0	15.0
コースHDCP	18	17
ターゲットスコア	95	89
CR差調整	+5	—
調整後コースHDCP	23	17
ネットスコア (ターゲットスコア - 調整後CH)	72	72

CR差を補う追加調整  
レーティングの高いティーのプレーヤーのコースHDCPにCR差を足す  
77.1-71.8=5.3 → 5 (四捨五入)  
※レーティングの低い方からCR差を引いてもよい

このコースHDCPで対戦する

これで公平になった

CR=コースレーティング / CH=コースハンディキャップ

原 ティーの選択ができるようになったことで、私のように競技の準備をする立場の人間も楽になりました。以前はティーを前に設定すると競技志向の方からは「こんなに前から回りたくない」と言われましたし、後ろにすれば今度は一般の方から「こんなに遠いところからやりたくない」と言われていました。競技の時、どこにティーをセットするかで本当に頭を悩ませていました。

—— どちらにしても文句を言われていたわけですね。

原 つらい立場でした(笑)。

—— 倶楽部HDCPでいわゆるシングルだった方の中にはHDCPインデックスで2ケタになった方もいると思います。そのような方の反応はいかがですか。

箕田 HDCPボードも廃止しましたから、寂しがっていた“前シングル”がたくさんいました。「オレはここまでいったんだ」と証明するものがなくなったわけですから。そこで、今年10月から独自に『ベストHDCPインデックス証明書』を希望者に有料で発行することにしました。

坂本 表面に自己ベストのHDCPインデックスや顔写真、裏面には倶楽部競技の優勝歴やベストスコアを出した時のスコアカードなどを印字したカードです。

藤井 2人の委員長は「普及させたい」という思いが強いので、いろんな知恵が浮かんでくるんですよ。2人が強いリーダーシップと熱意で引っ張ってくれたからこそ、当倶楽部で新システムの普及が進んだのだと思います。

—— 課題や問題点、あるいはJGAへの要望などはありますか。

藤井 分厚い解説書を読むだけではなかなか頭に入らないですから、もっと分かりやすいものがあつたほうが良いと感じています。

坂本 導入までの具体的な手順、たとえばここから始めるにはいつまでにどういうことを決めなさいとか、いつからいつまでのメンバーのデータを集めてコンピューターに入力しなさいというようなガイドラインをつくっていただいたほうがまだ導入していない倶楽部も入りやすくなるのではないのでしょうか。

藤井 それぞれの倶楽部で事情もあるでしょうから無理強いはできないと思いますが、「うちはどうしています」ということはお話ししています。「やるまでは難しそうに感じるけど、やってみれば楽だよ」と(笑)。

坂本 JGAは早く導入するような働きかけを少し強力に進める時期に差し掛かっているような気がします。採用している倶楽部名をJGAジャーナルに掲載する、あるいは旧来の倶楽部HDCPを認めないなどしてもいいのではないのでしょうか。取り入れていない倶楽部について、JGAから直接各倶楽部に出向いて個別に指導することも考えてはどうかと思います。また、HDCPインデックスによる競技をもっと増やしていくことも普及につながるのではないのでしょうか。

—— 貴重なご意見、ありがとうございました。